

行政視察等報告書

平成29年6月5日

米子市議会議長様

会派名 改進黨  
代表者氏名 遠藤 通  
提出者氏名 戸田隆次



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	遠藤 通、戸田隆次、岡田啓介
期日	平成29年5月23日から平成29年5月25日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 5月23日 福井県福井市 「中心市街地活性化の取り組みについて」 5月24日 長野県上水内郡飯綱町 「議会改革の取り組みについて」 5月25日 富山県富山市 「中心市街地活性化の取り組みについて」	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 223,160円

## ○福井市 中心市街地活性化の取り組みについて

- 1、 イルミネーション事業
- 2、 魅力向上活動支援事業
- 3、 まちなか活性化交流イベント事業
  - ・ 10万円の補助金での活動を募集。
- 4、 アクティブスペース
- 5、 まちフェス
  - ・ まちなかの各所に会場を設置することで、回遊性を高める。
- 6、 商店街イベント連携支援事業
- 7、 どまんなか祭
- 8、 美のまち
- 9、 まちなかエリアマネジメント推進事業
- 10、 まちづくり福井株式会社
- 11、 コミュニティバスすまいるの運行支援
- 12、 中心市街開業促進事業
- 13、 中心市街地文化活動推進事業
- 14、 リノベーションスクール支援事業

### 【考察】

福井市は、人口20万人程のまちですが、駅前の賑わいや、道路、建物の状況からすると、もっと大きなまちの印象を受けました。全国の地方都市に見られるように、福井市も中心市街地の衰退の傾向が顕著であったとのことでした。しかしながら、様々な取組により、着実に成果をだしておられます。特に「まちづくり福井株式会社」福井市が、51.1%出資していますが、この会社に民間から社長がきてから成果があがっているとのことでした。行政が、うまく民間と連携できている印象を受けました。

米子市においても、中心市街地活性化は大きな課題です。民間との連携、役割分担等基本にかえて検討すべきこともあると感じました。これからの米子市中心市街地活性化に向けて、様々な意見を提言していきたいと思えます。

## まちなか活性化交流イベント事業

市民から企画を公募し、地元住民、商業者等と市民グループ・団体等が連携してイベントを実施する。連携して事業を実施することで新たなネットワークができ、継続性と賑わい創出が期待できる。

(平成28年度実績)

学生によるワークショップ企画や、商店街と連携したダンスイベント等10件の開催を支援。

10月補助可のイベント

すぶらしよぶ H28.7.3

県内でまちづくりに取り組む学生団体による、古着フリーマーケットや学生アート展等



## アクティブスペース

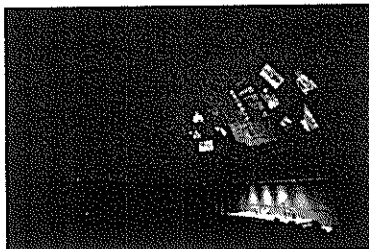
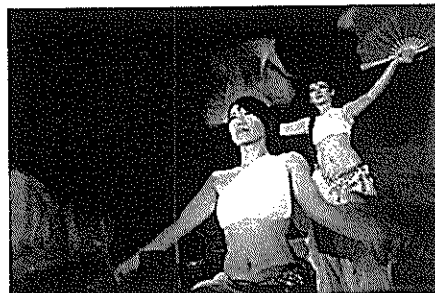
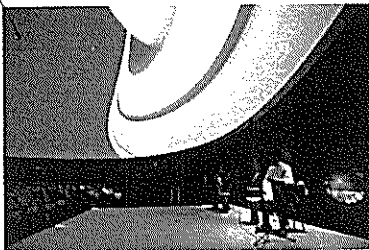
中心市街地にアクティブスペースを設け、文化・スポーツ・音楽・ボランティア等の様々な活動に市民や市民団体等が利活用することにより賑わいを創出している。これまで5カ所あったアクティブスペースは駅西口再開発事業や鉄道高架化工事に伴い、現在は2カ所(JR高架下・ガレリアポケット)となっている。

(利用状況)

JR高架下:あじさい市、犬猫譲渡会、踊り練習等  
ガレリアポケット:ダンス、音楽、花苗即売会

Tribal Garden-vol.6『星空の鼓動に祈りを』 H29.2.4

プラネタリウム映像演出と、プロパフォーマーによるパフォーマンスを融合したショー



平成27年の美のまち関連事業

①平成27年3月1日	美のまち祭 オープンイベント	参加店舗46店(うち美のまち10店)
②平成27年3月14日～	春のおもてなしめぐりスタンプラリー	参加店舗43店(うち美のまち8店)
③平成27年5月10日～	福の神	参加店舗10店(うち美のまち10店)
④平成27年6月7日	美のまち祭 癒しフェス	参加店舗9店(うち美のまち9店)
⑤平成27年7月5日	美のまち祭 メイクフェス	参加店舗4店(うち美のまち4店)
⑥平成27年7月31日	美のまち祭 本祭	参加店舗15店(うち美のまち15店)
⑦平成27年9月5日	美活フェス	参加店舗10店(うち美のまち10店)
⑧平成27年10月4日	姿勢フェス	参加店舗7店(うち美のまち7店)
⑨平成27年10月31日	HALLOWEENメイク	参加店舗4店(うち美のまち4店)
⑩平成27年10月中旬	日替わりサロン	参加店舗4店程度(うち美のまち4店)

平成28年の美のまち関連事業

①平成28年7月3日	浴衣美人	メイク、着付けヘアセット姿勢矯正等
②平成28年8月6日	美のまち本祭	美のまち店舗誘導と抽選会
③平成28年10月16日	メイク×メイク×メイク	ざわちんメイクショー
④平成28年10月16日	福井祭り東京2016	お市さんプレゼン
⑤平成28年10月30日	エンジョイハロウィン	お市さんを探せ
⑥平成29年1月21,22日	新春モテ祈願祭	美のまち新年祈願祭
⑦平成29年3月20日	美のまち誕生祭	誕生祭特別価格・特別メニュー

新規、JR 福井駅周辺  
 約1万6千5百人

まちなかエリアマネジメント推進事業

タウンマネジメント推進事業

概要

専門知識を有したタウンマネージャーを配置し、商業集積エリアとしての魅力向上を図る。

実績

- ①リノベーション事業の推進
- ②業種ごとの販促活動支援
- ③空き店舗や低未利用地の実態把握
- ④まちなか開業の支援
- ⑤地域商店街やステイクホルダーとの連携強化

まちづくり福井株式会社

まちづくり  
 福井市  
 中心市街地

平成11年3月に策定された「中心市街地活性化基本計画」に基づき、平成12年2月に中心市街地の活性化を推進するため、行政・民間双方からの出資による「まちづくり福井株式会社」を設立した。同社は、中心市街地の資源を活かした賑わいの創出、新たな投資を呼び起こす環境づくり、まちづくり・ひとづくりのコーディネートを目指している。

(設立) 平成12年2月23日  
 (資本金) 58,750,000円  
 (出資者) 福井市 30,000千円(51.1%)  
 福井商工会議所 10,000千円(17%)  
 商店街、商業者、公益企業等

まちづくり  
 福井市  
 中心市街地  
 福井市  
 福井商工会議所  
 商店街、商業者、公益企業等



# リノベーションスクール支援事業

まちづくり  
総務課  
福井

## ○概要

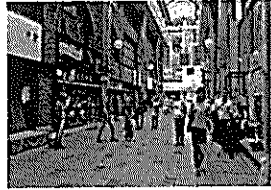
遊休不動産の活用と雇用創出を図る新たな都市再生手法であるリノベーションまちづくりの推進を目的として、実践的な学びの場であるスクールの開催を支援。まちの再生を推進するため、所有者に代わって物件を管理する家守(やもり)をリノベーションの主体とするスタイルをベースとしている。

第1回 平成27年6月19日～21日

第2回 平成28年9月30日～10月2日

第3回 平成29年9月22日～24日(予定)

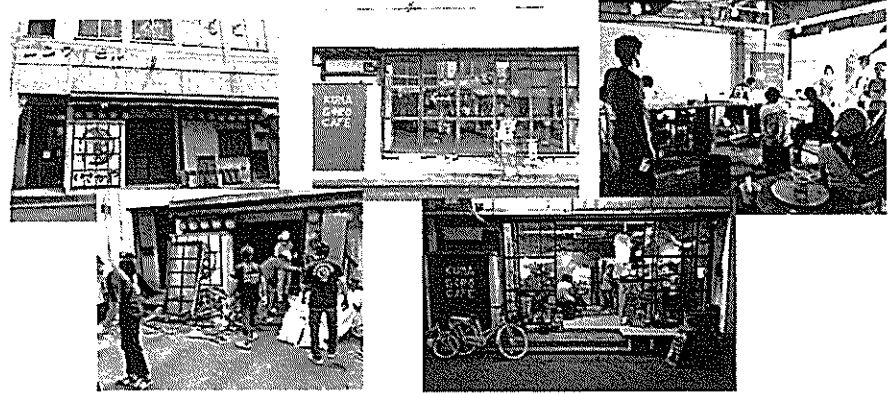
○主催 まちづくり福井株式会社



## ○第1回

対象物件は、築40年の4階建てビル。これを、「ワンダーエリア。ワクワクどきどき、そこに行くと何かある」をコンセプトに事業計画を策定。

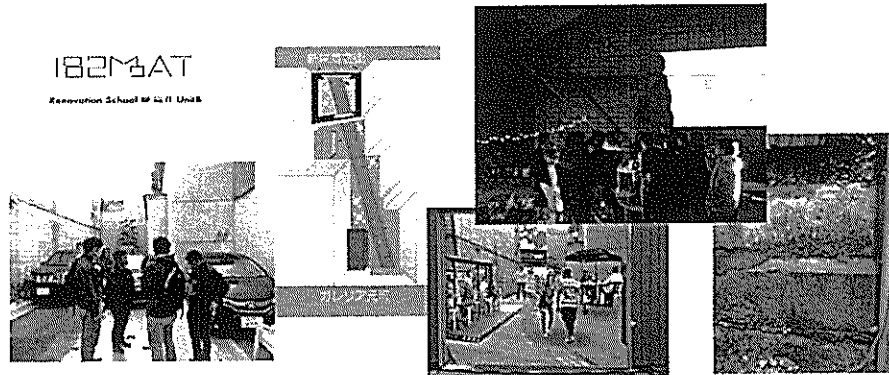
戦国一の美女と謳われたお市の方が住んでいたといわれる柴田神社周辺において、「欲しい暮らしは自分でつくる女子たち」が集まるエリアにリノベーションする。



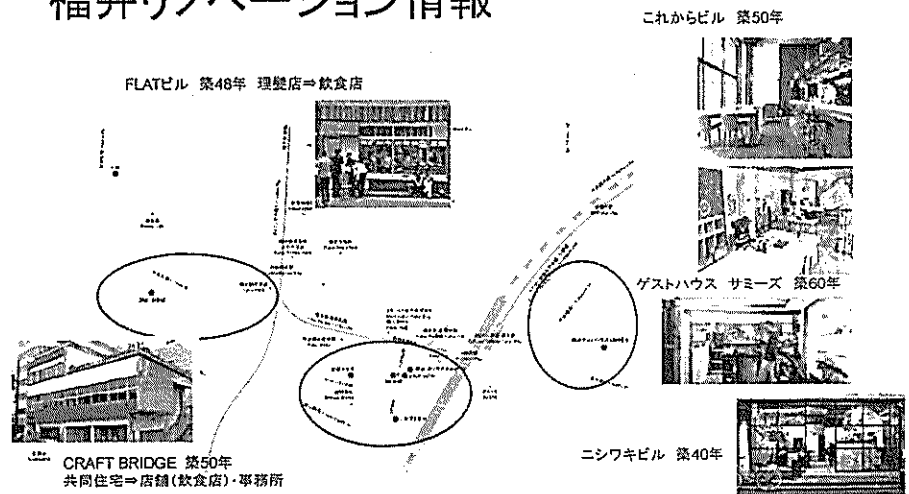
## ○第2回実績

対象物件は、空き地。隣接するパチンコ店増床の可能性があり、恒久的な建物の建設はできない。対象エリアの下に残っている百間堀を活用し、歴史的価値を復活させ、1.8mの高低差はスロープで歩きやすくし、昼はお弁当やカフェ機能をもつ市民の憩いの場に、夜はバルでちよい呑みができるコミュニティバルのようなエリアにリノベーションする。9月OPEN予定

182MAT  
Renovation School #01 Unit



## 福井リノベーション情報



リノベーションにより開業した店舗 : FLAT・これからビル・ゲストハウスSAMMIE'S  
クマゴローカフェ・CRAFT BRIDGE等

※クマゴローカフェは、第1回リノベーションスクールの案件で事業化

## ○飯綱町 議会改革の取り組みについて

### 1) 議会改革の契機について

①合併直後、旧牟礼町の第3セクター「飯綱町リゾート開発（株）」が突然経営破綻、金融機関と旧牟礼町が損失補償契約を結んでいたため、金融機関に町は訴訟を起こされ、全面敗訴約8億円を支払うことになった。議会チェックの機能が十分に果たされていたのかと住民からの厳しい批判、議決責任・説明責任が問われた。

### 2) 町民に信頼される議会を目指し、議会改革宣言

- ①町民に対して議会の議決責任と説明責任を果たす
- ②議会への住民参加を広げる
- ③議会の情報公開を広める
- ④議員の資質向上に努め議員同士の自由討議を活発に行う
- ⑤議員の政策立案能力を高め、政策提言、条例制定などに取り組む
- ⑥行政への批判と監視機能を一層強化する

### 3) 二元代表制を形式的なものから実態あるものにして機能させる

- ①一般会計予算・決算は款別に質疑を進める
- ②全員協議会で議案の論点・争点整理をする
- ③会派構成とせず賛否は本人判断とする

④議員の力量向上と議案の否決、修正、不承認多々あり

⑤一般質問で町長が検討を約束した問題については、半年事に検討結果を書面にて議会へ報告を求める

#### 4) 議会の政策提言活動重視 「政策サポーター制度」を新設

①町長に政策提案できる議会力・議員力の向上（理論・政策水準）を求め政策で町長と善政競争をする議会へ

②政策サポーター制度新設（費用弁償－3千円／1回）

③議員定数の減により町民の知恵も借りて政策づくりを協働ですすめる

④テーマ設定～政策提言書～議会にて議論

（例．人件費の削減・時間外保育料の一部無料化・集落振興事業の予算増額等）

⑤テーマの概略を議会報に発表し、政策サポーターを公募する

⑥政策づくりのポイント

- ・現状把握とポイント
- ・問題点の解明
- ・行政が取り組むべき政策課題の整理
- ・政策サポーターの役割・議員の役割と責任

#### 5) 開かれた議会

①全中学生が参加する「飯綱町中学生議会」開催

②休日議会

③夜間議会

④町民が質問した議会

⑤中学生議会「飯綱町へ15歳提言」開催

⑥町民と議会との懇談会

6) 議会事務局は議会改革と議員活動支援に転換

①調査研究能力・新しい仕事への挑戦意欲ある職員配置

7) 「学ぶ議会」定着—議員研修の積極的参加

①シンポジウムを開催し「学ぶ活動」を町民にも広げる

「考察」

飯綱町議会は、第3セクターの突然の破綻によりその債務負担を町がした事により、議会としての使命について住民より強い批判を受け、議会改革に着手したとの事です。議会は行政側の追認機関ではない、チェック・政策提案をすることが議会の大きな責務であり、それには議員の資質の向上化が必要とし各議員研修への参加を促進した。また、政策サポーター制度を導入し、議会・町民により政策立案・提言したとの事です。



米子市も米子駅南北自由通路事業、高島屋有効活用事業・湊山球場用地有効活用問題等大きな政治課題が山積しており、議会は行政の追認機関ではない事を踏まえ、諸課題について積極的に行政に対し意見提言していきたいと強く思います。

## はじめに

飯網町議会は、平成20年に町民から信頼される議会をめざして8項目の議会改革に取り組むことを決定し、真剣に実践してきた。そのひとつが政策提言のできる議会(議員)活動である。今年の4月には「政策サポーター制度」に基づき、全議員とともに12名の町民の方にも参加いただき「飯網町における行財政改革の推進」と「都市との交流・人口増加対策」の2つの研究会を組織、学習と自由討議を重ねてきた。その結果、それぞれ以下の政策提言内容で合意に至ったので相澤町長に提出する。

町長はじめ全職員が、この政策提言を真剣に受け止め深く理解し、積極的に具体化、実行することを強く期待する。

# I

## 飯網町における 行財政改革推進のための政策提言

### 1. 町行財政の現状、特徴と問題点—諸指標による分析、県下市町村との比較

#### (1) 町財政状況を県下市町村平均と比較、検討

◎ 諸指標にみる町財政の実態を県下市町村平均と比較すると、全ての指標で町財政が悪化していることがわかる。

特に、自主財源がとぼしく財政力が弱いにもかかわらず、ラスパイレス指数が高いこと、人口1,000人当たり職員数の多さなど、人件費が相対的に多い状況にある。

また、実質公債費比率が高いこと、将来負担比率が県下市町村平均の2倍になっており、将来にわたって借金体質になっていくことが予想される。

(資料1) 〈平成20年度〉

諸 指 標	飯 網 町	県下市町村平均
財政力指数	0.34	0.43
経常収支比率	91.9%	87.6%
人件費・物件費等の状況 (人口1人当たり)	146,018円	120,514円
給与水準 (ラスパイレス指数)	97.1	96.4
将来負担比率	136.1%	70.4%
実質公債費比率	17.7%	13.7%
人口1千人当たり職員数	10.79人	7.94人

(資料2)

項 目	飯 網 町	県下市町村平均
人件費	21.5%	22.5%
物件費	7.6%	11.0%
扶助費	3.2%	5.6%
公債費	14.5%	20.8%
公債費以外	77.4%	66.8%
補助費	25.9%	14.4%
その他	19.2%	12.7%

#### (2) 特徴と問題点

◎ 合併後、町の一般会計予算は国の地方財政政策の影響や中学校建設もあり、標準財政規模(約45億円)に比べて規模が年々大きくなっている。平成22年度は約70億円。

## II

都市との交流事業を多様に発展させ、  
町人口の増加をめざす政策提言1. これまで町行政が取り組んできた都市との交流事業、町人口増加対策の経過と現状、  
そして今後

## 〈経過と現状〉

旧牟礼村・三水村時代から都市との交流事業に取り組んできた。交流推進室の設置、3～4時間で行き来できる浦和市・与野市・坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・志木市・三鷹市・東庄町、及び岡部町（静岡県）、上越市（新潟県）などとの交流事業を進めてきた。

また、各市町へのイベント参加と農産物販売、保養所契約、大規模災害時における相互応援協定の締結などにも取り組んできた。りんごオーナー制度や町内農産物を活用した商品化、町内における伝統的食文化の掘り起こしと新たな食品の研究と普及の活動にも取り組んできた。

人口増加対策として、「飯綱町に住もうプロジェクト」による若者定住住宅の建設（入居率100%）、空き家情報の提供と仲介など町内への移住を望む人を対象とした事業を新たに展開してきた。

また、単なる土地や空き家の紹介活動にとどまらず、ソフト面からも子育てと教育支援策の拡充、アイバス運行、認知症対策の構築など暮らしやすい町づくりを進める町行政の魅力のアピールにも努めてきた。

## 〈今後〉

これまでの行政の取り組みの成果と到達点を評価しつつも、この分野のさらなる発展のための課題を明らかにし、新たな努力を求めるものである。

交流事業はイベント的、一過性の取り組みから、持続的で多面的な広がりをもつ事業として発展させる必要がある。そのためにも地域力を生かした起業など町民の意欲性や行動エネルギーを引き出し、組織していく行政の新たな役割が求められている。

また、人口増加対策も地域全体の活性化とともに、経済効果、政府の交付税効果などがより実感できる事業へと発展させる必要がある。そのためにも、町内の様々な事業者と町行政との協働関係を新たに構築するなど、いわゆる民間活力の発揮が力になると思われる。

## 2. 都市との交流・町人口増加対策の事業を発展させるための課題

## (1) 飯綱町のもつ魅力の情報発信に創意工夫を

飯綱町の自然と景観、歴史と文化、農業・農村と農産物、食文化、観光施設・スキー場・ゴルフ場などの魅力を都会の人たちに創造的にアピールする方策を研究する必要がある。「信州飯綱町の会」の会員の皆さんの支援も求める。

また、暮らしやすい、子育てしやすい町づくりをすすめる町行政のソフト面も大いにアピールする必要がある。

## (2) 農作物等を都会の人々へ直接販売する新たな方策を

団体・個人の起業的取り組みへの行政としての支援策を検討し、新たな地場産業として発展させる。組織力、実行力のあるリーダーの育成も大事である。さらには、町内の異業種の企業・自営業者・個人のネットワーク化をすすめ、効果的宣伝や共同の取り組みによる相乗効果の発揮も追及すべきである。

## 〈都市との交流〉

## (3) 町の農産物と食文化をアピールする「農家レストラン」を新設する

地元の農産物や山菜を活用し、この地域の伝統食や食文化を生かした「農家レストラン」を町内に新設する。いづなりリゾートスキー場内のレストランのオフシーズン（春～秋）対策として活用すれば、先行投資

## 「子育て支援のまち・飯綱町」をめざして

飯綱町議会政策サポーター会議  
担当：福祉文教常任委員会

### 1. 背景

飯綱町の人口は、昨年度までの 5 年間で年間 150 人ほど減少している。特に年少人口の減少と高齢者増加は、近隣市町村と比較しても際立っている。直近の国立社会保障・人口問題研究所の試算によると、当町の人口は、2030 年には 9,000 人前後まで減少すると推計されている。

人口減少がもたらす影響は、環境への負荷低減など必ずしも悪いものばかりではない。しかし、生産年齢人口の減少に伴う地域経済への影響や地域福祉の担い手不足など負の影響を及ぼすことは確実である。

したがって、人口減少に歯止めをかけることは、当町にとって重要かつ喫緊の課題であり、早急に対策を講じる必要がある。

当町では、若者定住住宅の建設、住もうプロジェクトの推進など、人口増加のためのさまざまな事業を実施しているが、顕著な成果は得られていない。

このような状況のなか、議会は、昨年度制定した「議会基本条例」に基づき、本年 6 月から政策サポーター会議を組織した。今年度は、二つの常任委員会ごとにテーマを決め、15 名の町民に参加をいただき、これまで討議と研究を重ねてきた。

しかしながら、議員任期までですべての課題についてとりまとめることが不可能なことから、他の課題に先がけ、子育て支援策の一部について提言を行うものである。

### 2. 位置づけ

本提言書は、町民の参加を得て実施した「議会政策サポーター会議」で要因分析を行い、そこから導かれた一部の施策をとりまとめたものである。今後、来年度予算や実施計画の策定などを検討する際には、積極的に実施いただきたいと考えている。

### 3. 現状把握と分析

#### (1) 飯綱町の将来人口推計

○毎年 150 人前後減少すると推計されている

区分/年度	2005	2010	2015	2020	2025	2030
0～14 歳(人)	1,573	1,346	993	811	695	618
割合(%)	12.6	11.3	8.8	7.7	7.1	6.8
15～64 歳(人)	7,514	6,915	6,270	5,518	4,916	4,401
割合(%)	60.1	58.3	55.8	52.4	50.1	48.5
65 歳以上(人)	3,417	3,604	3,966	4,192	4,192	4,064
割合(%)	27.3	30.4	35.3	39.8	42.8	44.7
合計	12,504	11,865	11,229	10,521	9,803	9,083

資料：国立社会保障・人口問題研究所

## ○富山市 中心市街地活性化の取り組みについて

1) 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

2) 都市の特性（課題）～低密度な市街地と公共交通の衰退

①ごみ収集や除雪等都市管理コストの上昇、中心市街地の衰退

②過度な自動車依存と公共交通の衰退

③車を自由に使えない人にとってきわめて生活しづらい街

3) 富山市のまちづくりの基本方針

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住推進

③中心市街地の活性化

4) 富山市の公共交通の活性化

①富山駅中心に放射状のネットワーク構成

②市内電車環状線化事業整備

(効果)

・環状線利用者のうち、中心市街地で2時間以上滞在する人、1日当たり1万円以上の消費をする人の割合が堅調に推移している

・環状線利用者は、自動車利用者に比べて、平日・休日共に、中心市街地の平均滞在時間が長く、2店舗以上に立ち寄る人の割合が高い。また、休日の平均消費金額が多い

- ・買物を目的とした外出機会が増加するとともに、ついでに増えた目的として飲食の割合も高くなった
- ・高齢者の外出機会の増加のため、歩数増加による健康増進
- ・中心市街地での日常の買物・イベント参加・日常生活で歩く事が増加
- ・富山駅一総合交通結節点としての機能向上

## 5) 公共交通沿線への居住推進

- ①共同住宅の建設費への補助（70万円/戸）
- ②サービスつき高齢者向け住宅（70万円/戸）
- ③優良賃貸住宅建設に対する補助（住宅供用部分等の整備費2/3）
- ④戸建て住宅・分譲住宅建設（30万円/戸）
- ⑤2世帯住宅上乗せ補助（10万円/戸）
- ⑥区域外からの転入の場合上乗せ補助（10万円/戸）

## 6) 中心市街地活性化

- ①大規模商業施設整備
- ②全天候型多目的広場整備（グランドプラザ幅21m・高さ19m）  
（公共空地と民有地を広場として一体利用）
- ③立体駐車場 一体的整備

## 7) お出かけ定期券事業

- ① 65歳以上高齢者対象に市内各地から中心市街地へ出かける際、公共交通利用料金を1回100円とする割引制度導入

## 8) 地場もん屋総本店

- ① 市内全域の地元農林水産物の情報発信と販売促進のための拠点として、「地場もん屋総本店」整備

## 9) その他

- ① 自転車市民共同利用システム
- ② 富山まちなか研究室（たまり場・語り場・学び場・演じ場）
- ③ 指定の花屋で花を買い市内電車に乗車の場合、運賃を無料とする
- ④ 路面電車の南北接続
- ⑤ 公共投資が呼び水となり中心市街地における、民間投資が活発化

## 「考察」

富山市においては、市町村合併により行政区域が増大し、ごみ収集・除雪業務等住民サービスに係るランニング経費の増加となった。その対応策として公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり富山を目指したとの事です。65歳以上の方々が、市内各地より中心市街地に出かける運賃を100円とした施策が基本であり、人が中心市街地へ集う交通体系を確立しており、また公共交通沿線への居住推進に資する補助制度が整備されていた。

米子市においても中心市街活性化の基本は、駅前・角盤の2画エリアがにぎ

わい創出の核と位置づけられております。その1画である角盤エリアの高島屋が一部米子市へ寄付されその有効活用については、官民一体となり検討する事としている。富山市を視察しましたが、富山市は先ず全市内より中心市街地へ、人を呼び込むことに主眼を置いている。本市においても、だんだんバスを運行しているがその運行体系を見直すことが急務と感ずる。早急に公共交通体系の見直しについて提言したい。



# 富山市のまちづくりの基本方針 ～コンパクトなまちづくり～

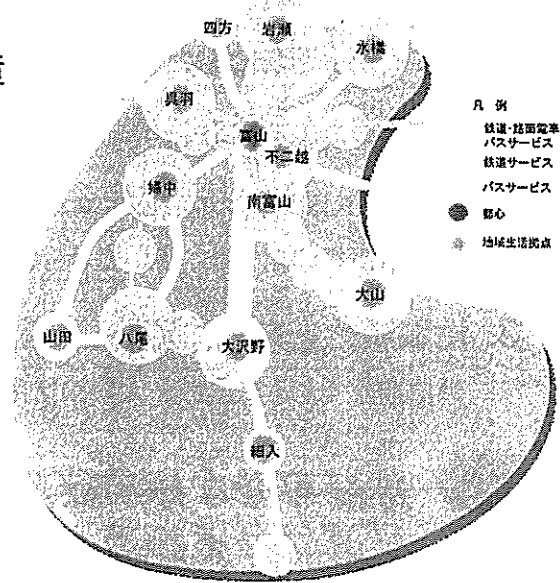


鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

## <概念図>

富山市が目指すお団子と串の都市構造

- 串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通
- お団子：串で結ばれた徒歩圏



## <実現するための3本柱>

- ①公共交通の活性化
- ②公共交通沿線地区への居住推進
- ③中心市街地の活性化

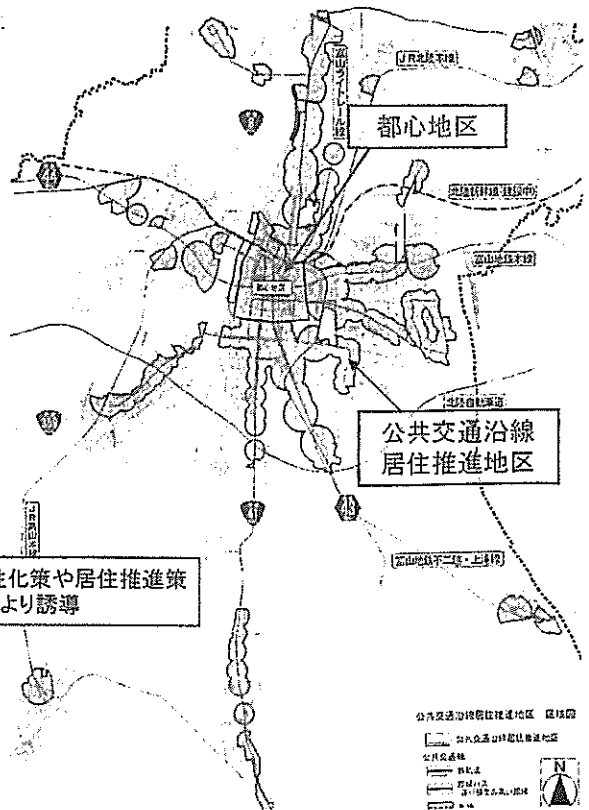
# 都心地区・公共交通沿線居住推進地区の設定と居住人口の目標



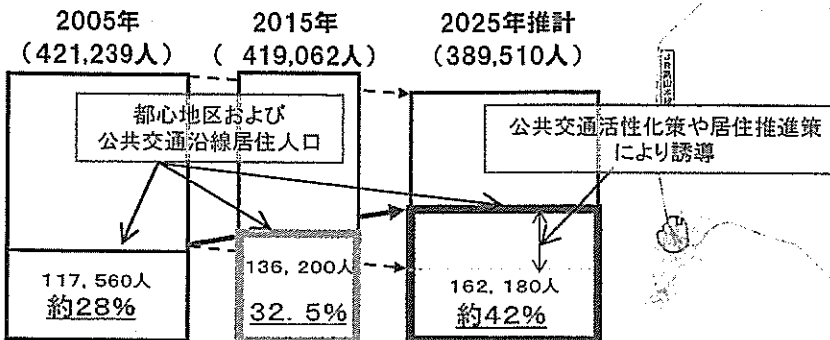
## 都心地区・公共交通沿線居住推進地区の設定

- ・都心地区：約436 ha
- ・公共交通沿線居住推進地区：約3,383ha
- ※富山駅を中心とした19の公共交通軸周辺
  - ・鉄道、軌道駅勢圏（半径500m）
  - ・バス停圏（半径300m）

都心地区及び公共交通沿線居住推進ゾーンでは、良質な住宅の建設事業者や住宅建設や購入する市民に対して助成



## <公共交通沿線における居住人口の目標>



# 富山市の公共交通網 ～鉄軌道及び路線バス～



富山駅を中心に放射状のネットワークを形成している

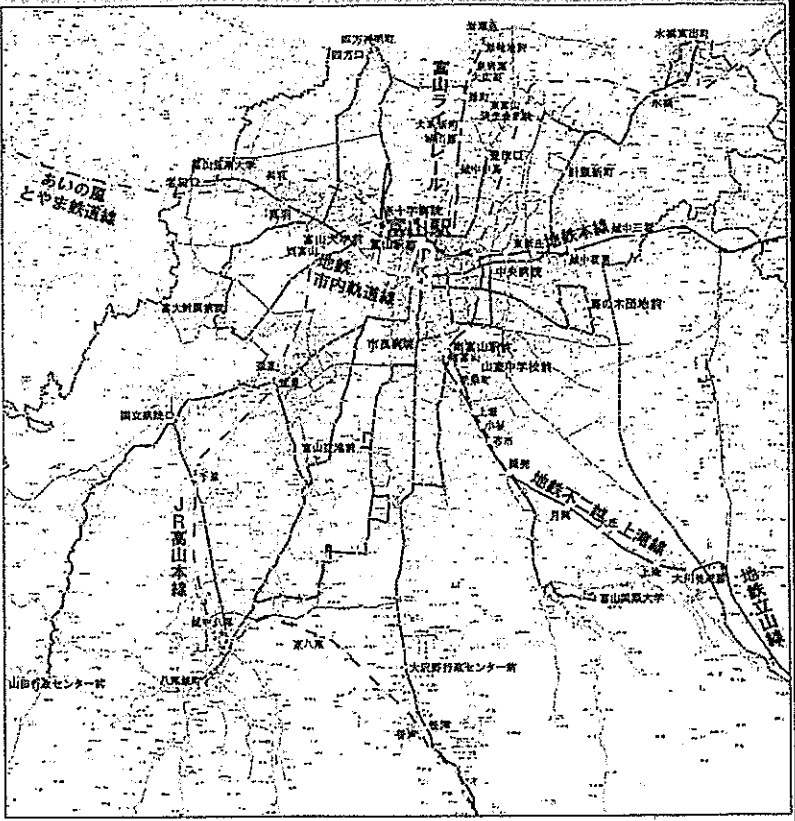
## ■鉄軌道(7路線)

- ・北陸新幹線
- ・あいの風とやま鉄道線 (並行在来線)
- ・JR高山本線
- ・地鉄本線・立山線
- ・地鉄不二越・上滝線
- ・地鉄市内軌道線 (環状線含)
- ・富山ライトレール

## ■路線バス

- ・富山地方鉄道(株)が運行するものを中心に約100系統の路線

	JR、あいの風とやま鉄道
	富山地方鉄道(鉄道)
	富山地方鉄道(軌道)
	富山ライトレール
	主要バス路線

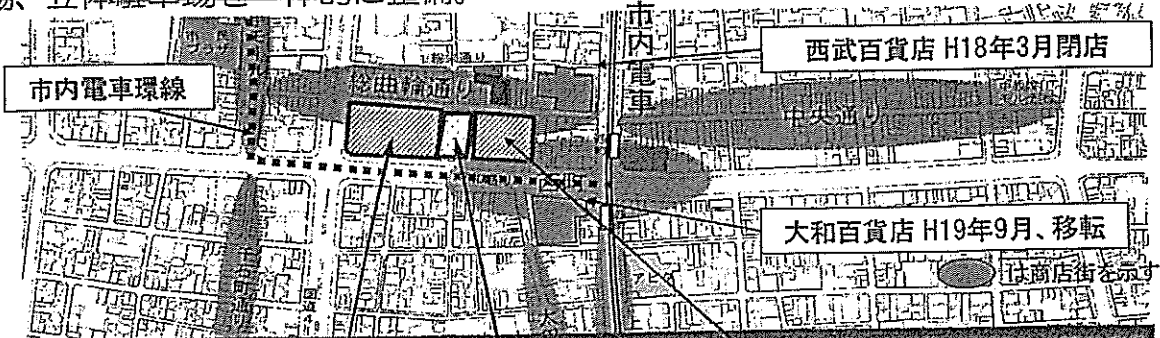


# 中心商業地区における新たな賑わい拠点の整備



## ■再開発を主体とした賑わい拠点の整備

中心商業地区において、その核となる大規模商業施設、全天候型多目的広場、立体駐車場を一体的に整備。



① 総曲輪通り南地区市街地再開発事業  
大和富山店 H19年9月完成

② クラウドプラザ(全天候多目的広場)  
H19年9月完成

③ 西町・総曲輪再開発再開発事業  
立体駐車場 H17年3月完成



行政視察行程【会派：<sup>かいしん</sup>改進黨（遠藤 通、戸田隆次、岡田啓介）3名】

月 日	行 程	宿 泊 地
5 / 2 3 (火)	7:24 米子駅 == (伯耆大山駅) == 7:29 岡山駅 == 9:38 新大阪駅 == 9:53 福井駅 == 10:38 福井駅 == 10:46 福井駅 == 12:30 福井市役所 JR 特急やくも 6号 JR 新幹線のぞみ 12号 JR 特急サンダーバード 17号 *** 徒歩	【宿泊先】 ユアーズホテルフクイ TEL : 0776-25-3200
	福井市行政視察 午後2時00分ごろから2時間程度 【調査項目】 中心市街地活性化の取り組みについて 議会事務局 電話 : 0776-20-5506	
5 / 2 4 (水)	9:37 福井駅 ===== 10:25 金沢駅 ===== 10:56 長野駅 ===== 12:22 13:40 牟礼駅 ..... 14:01 飯綱町役場 JR 特急サンダーバード 5号 JR 新幹線はくたか 560号 しのの鉄道北しのの線・妙高高原行 タクシー	【宿泊先】 富山エクセルホテル東急 TEL : 076-441-0109
	飯綱町行政視察 午後2時10分ごろから2時間程度 【調査項目】 議会改革の取り組みについて 議会事務局 電話 : 026-253-4761	
	16:16 牟礼駅 ===== 16:39 長野駅 ===== 16:57 富山駅 しのの鉄道北しのの線・長野行 JR 新幹線はくたか 560号・金沢行	
5 / 2 5 (木)	富山市行政視察 午前10時00分ごろから2時間程度 【調査項目】 中心市街地活性化の取り組みについて 議会事務局 電話 : 076-443-2158	
	13:17 富山駅 ===== 13:39 金沢駅 ===== 13:54 新大阪駅 ===== 16:32 16:42 岡山駅 == 17:27 18:04 (伯耆大山駅) == 20:21 米子駅 JR 新幹線はくたか 559号 JR 特急サンダーバード 26号 JR 新幹線のぞみ 39号 JR 特急やくも 23号	

旅費計算表

平成29年5月23日 ～ 平成29年5月25日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線名	区間 キロ数	目的地ま でのキロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当	宿 泊 料	
							特 別	新 幹 線		議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 10,900円
5/23	米 子 ～ 岡 山	JR			12,860	阪神往復割			1,500		9,300
(火)	～ 新 大 阪	JR									
	～ 福 井	JR					2,680				
5/24	福 井 ～ 金 沢	JR					850		1,500		12,600
(水)	～ 長 野	JR			7,880			4,960			
	～ 牟 礼	しなの鉄道			420						
	牟 礼 ～ 長 野	しなの鉄道			420						
	～ 富 山	JR						4,080			
5/25	富 山 ～ 金 沢	JR						2,360	1,500		
(木)	～ 新 大 阪	JR			7,880		1,450				
	～ 岡 山	JR									
	～ 米 子	JR									
計	議 員 旅 費			72,240	29,460	0	4,980	11,400	4,500	0	21,900
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 遠藤 通、戸田隆次、岡田啓介

議員旅費	72,240 × 3名 =	216,720
タクシー代	1,580 × 1式 =	1,580 (牟礼駅⇄飯綱町役場)
お土産代	1,080 × 3カ所 =	3,240 (福井市、飯綱町、富山市)
旅行取扱手数料	540 × 3名 =	1,620
旅費総額		223,160 円
②資金前渡		228,240 円
精算(①-②)		▲ 5,080 (戻入)

福井県福井市・長野県上水内郡飯綱町・富山県富山市  
改進黨派行政視察